

Departure Oral Communication I Revised Edition

異文化理解が深まる教科書

海外留学カウンセラー
西澤めぐみ



◆経済のグローバル化に対応するために

私は現在、アメリカを中心とした海外留学のカウンセラーをしています。拙著『世界に飛びだそう！目指せ！グローバル人材——成功するアメリカ大学留学』（ダイヤモンド社、2010）にも記しましたが、経済産業省と文部科学省が2010年に「産官学でグローバル人材の育成を」という報告書を発表しました。少子高齢化の影響で日本市場が縮小されることが予想されるのに伴い、今後は海外市場への進出が増えると予想され、そのためにはグローバルに通用する日本人の養成が急務となっているのです。

では、グローバルな環境で活躍できるとはどういうことか、ですが、英語をはじめとする外国語でのコミュニケーション能力だけではなく、「異文化理解・活用力」が求められます。*Departure Oral Communication I Revised Edition*（以下*Departure*）には、まさに、Lesson 12: Different Is Fun! で世界の多様な文化を受け入れつつ、独自の文化を発展させてきたアメリカの例が取り上げられていますが、このように、世界には日本とは違うさまざまな文化があることを認識する必要があります。そして自身が持つ価値観とは異なる文化に対して、興味と理解をもって接し、柔軟に対応できる力を養うことが大切です。その第一歩として、*Departure* で取り上げられているようなアメリカ社会の移民・生活様式などについて取り組むことは、大いに高校生の興味を喚起する引き金になるのではないのでしょうか。

◆英語やジェスチャーの背景を意識する

外国語を学ぶにあたっては文法などの言語的知識はもちろんのこと、その言語が話されている地域の文化や歴史的背景を合わせて学んでいくことが大切です。そうすることで、おのずと世界各地で様々な英語が話されていることも受け入れることができるようになるでしょう。Lesson 13: Which “English” Do You Speak? では、アメリカ英語だけではなく、イギリスやオーストラリア、南アフリカなどで使われている英語が取り上げられています。世界各地でそれぞれ特徴のある英語が話されているということを知り、適宜対応できることが、今後ますますグローバル化する世界を生き抜いていくために必須のスキルとなることでしょう。

また、身振り手振り、いわゆるジェスチャーや仕草も大切な要素のひとつです。国が変われば同じ行動や仕草でもまったく意味合いが異なるものもあります。Lesson 10: Why Do You Smile? では、バツの悪い出来事があった際に、照れ隠しに思わず微笑んでしまう日本人の行動や、アメリカ人が机に腰掛けて話をする仕草を、失礼だと受け取る日本人と、リラックスすると受け取るアメリカ人の違いについて触れられています。同じ仕草や行動でも、受け取り方はさまざまです。自分が育ってきた価値観だけを基準に良し悪しを判断するのではなく、常に「○○ではどうなんだろう？」と考える余裕を持っておきたいものです。



英語圏の国、例えばアメリカに留学すると、日本人としてのアイデンティティを意識する機会が増えるのはもちろんのこと、自分はアジア人なのだと認識する機会が増えるでしょう。アジア以外の国々の人の中には、日本も中国も韓国もすべてアジアとひとくくりで考え、似たような文化や言語を使っていると思っている人もいます。「アジア人は○○だ」といった断定的な評価を受けることも珍しくありません。特に留学初期にはこういった状況に過敏に反応し、「私は日本人で、○○人とは違う」とついムキになってしまいがちですが、徐々に日本人である自分と同時に、アジア人としての自分というアイデンティティを確立していくことができるようになります。Lesson14: We Are Asians! では近隣諸国の習慣などが取り上げられています。英語を学ぶと言うと、つい英語圏の国のみを意識すれば良いと思ってしまいがちですが、日本と同じく英語を外国語として学ぶアジアの国々に目を向けていくという点で、大変学びの多い章だと感じました。

今まで多くの方々を留学に送り出してきました。英語力、学力、性格と人それぞれでしたが、無事に留学を終えて帰国される方には共通点があります。それは、問題が起こった際に自分で主体的に考えて行動できる人、自分の意思を分かりやすく相手に伝えられる人であることです。多様な価値観の中で生活することで、日本で暮らしていた時には思いもしなかったトラブルに巻き込まれることもあります。その時に自分自身の価値観だけにとらわれずに判断ができるか？そして相手の立場を理解しながらも、自身の意見を主張し、ベストな解決へとつなげていけるか？こういった能力は留学中だけではなく、将来グローバル化した社会で生活するにあたって必ず役立つことに

ですが、沈黙を美德とする日本社会で育ってきた人にとっては、上手な自己主張というのはほとんどの場合、難しく感じるのではないのでしょうか。しかし、アメリカをはじめとする諸外国では、沈黙イコールその問題に関して意見がない、あるいは納得していると捉えられます。つまり、意見があるのであればきちんと主張していかなければならないのです。Lesson 16: Express Yourself! では、的確に自身の意見を表現するスピーチの仕方や、相手に対する効果的なインタビュー方法を学ぶことが出来ます。スピーチ能力、インタビュー能力とも一朝一夕で身につくものではありませんが、テキストで取り上げられているタスク（1年でもっとも心に残ったことを発表する）のような練習を積み重ねていくことで、将来必ず役に立つことでしょう。

今回 *Departure* を読んで、私自身が数十年前、学生時代に学んだ英語教科書とは全く異なるものであることはもちろんでしたが、リスニング、スピーキングのスキルを伸ばすだけではなく、異文化理解を深めることにかなりの紙幅が割かれていたことが、留学に携わるものとして嬉しい驚きでした。いまや、企業で働く人に限らず、外国人との関わりが避けられない時代となっています。仕事やプライベートでスムーズなコミュニケーションを取るためには、相手がどうしてそういった行動や発言をするのかを理解していく必要があります。そのためには語学以外の背景知識が必要となりますが、その部分にしっかりと触れられている教科書だと感じました。このテキストで学んだ高校生が、将来海外留学を進路の1つの選択肢として考えてくれればと願っています。

地球の歩き方「成功する留学」チーフカウンセラー）